



環境保全活動報告書

令和3年度



KSK

湖国精工株式会社

<http://www.kokokuseiko.co.jp>

環境保全の歩みと取組み

(環境方針)

1. 地球環境にやさしい事業活動をする
2. 全従業員が力を合わせて、環境に配慮し、人と地球の共生をはかる
3. 環境関連法規制を遵守する
4. 環境マネジメントシステムの継続的改善に努める
5. 環境汚染の未然防止と環境負荷の低減に努める

環境保全の歩みと取組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

(目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負荷の少ない持続可能な街づくりに、自主的・主体的に行動するとともに協働して取組むことが求められている。

(活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて環境への負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施するものとする。

(環境管理体制の整備・充実)

環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

また、環境管理体制はISO14001に沿ったマネジメントシステムの構築また、市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

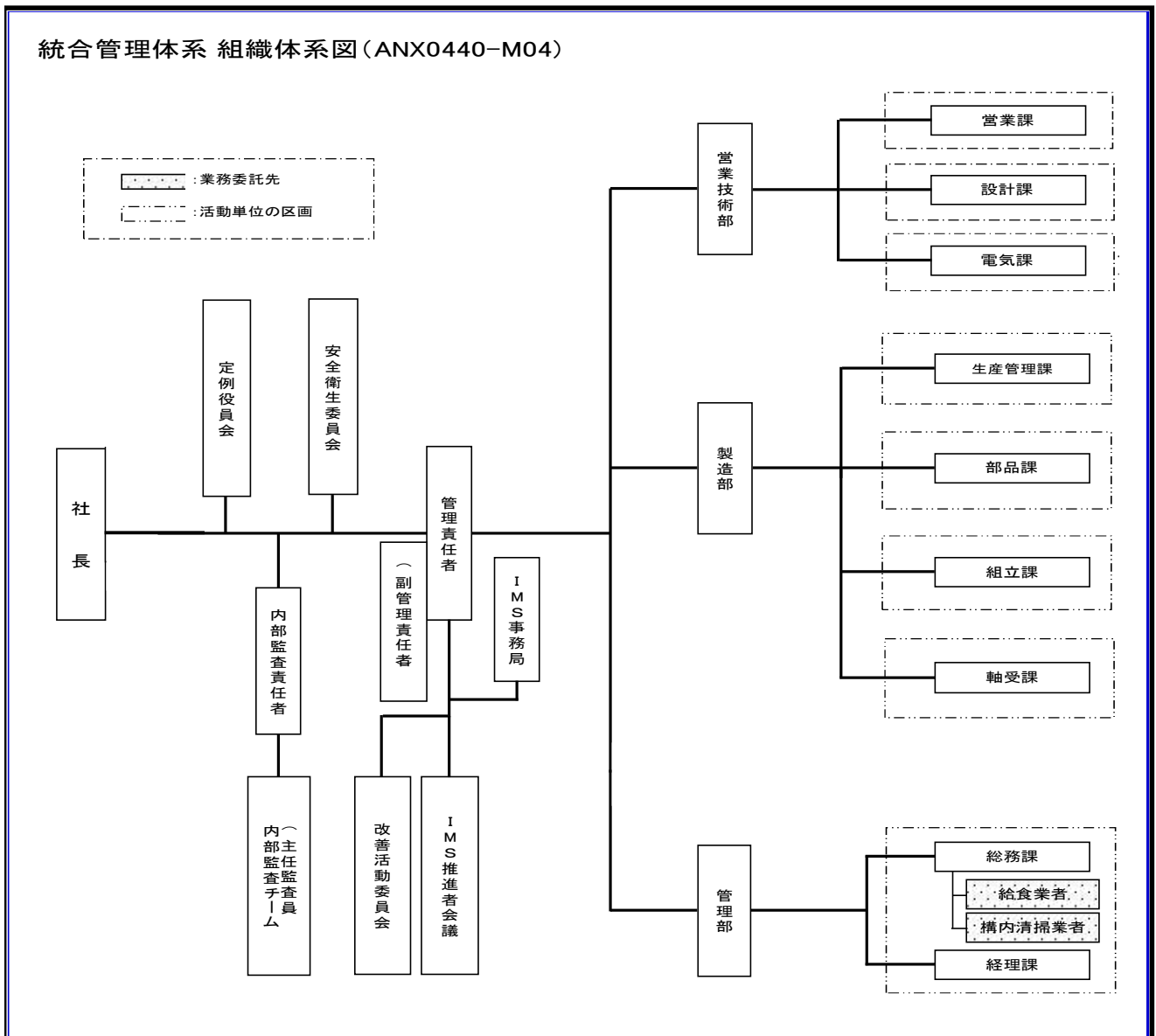
(報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回、市に報告する。

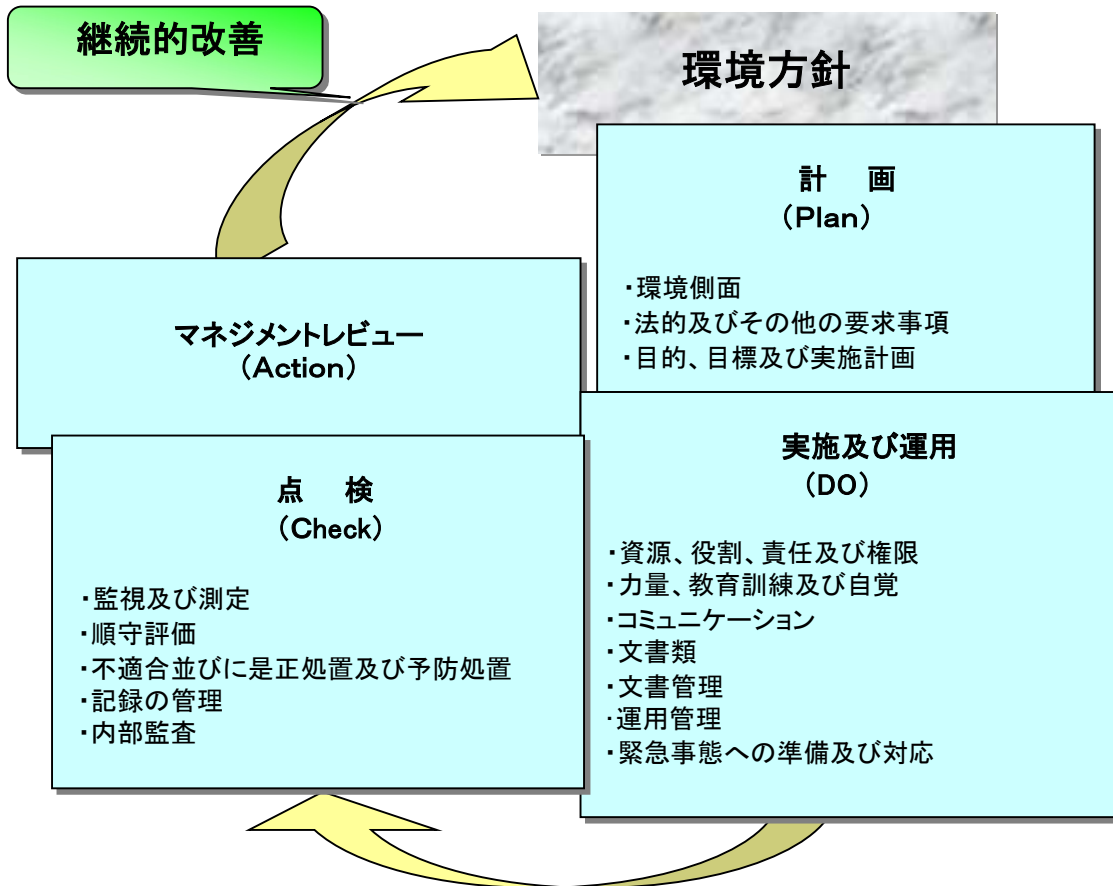
主な環境取組テーマ

- ① 地球温暖化の防止
- ② 廃棄物の削減
- ③ 琵琶湖の汚染防止
- ④ 環境に関する地域社会への貢献
- ⑤ その他の取組み

環境管理組織体系図



～P・D・C・Aサイクルによる、継続的改善の管理システム～

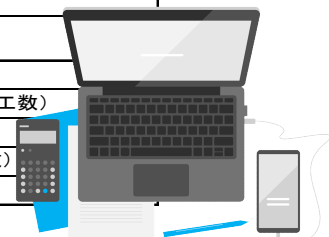


- P-D-C-Aのサイクルで構成されているシステムで、このシステムを運用することにより継続的改善を目指す。
- 汚染の予防と環境関連法規制の遵守が要求されており、これに対するシステム構築と運用を行なう。
- 環境方針及び目的・目標を定め、体系的な改善を行うために環境影響の原因である環境側面を抽出し、これの管理・改善を行う。環境影響を出してから対策するのではなく、発生源の管理・改善を目指している。
- 環境影響の著しいものを取上げ、重点的に管理・改善を行う。
- あらゆる組織に適用できるシステムで、システム導入は組織の自主的な活動により行なわれ、トップの方針に基づき、全員参加で環境負荷を低減するシステムである。

環境目的・目標 実施計画

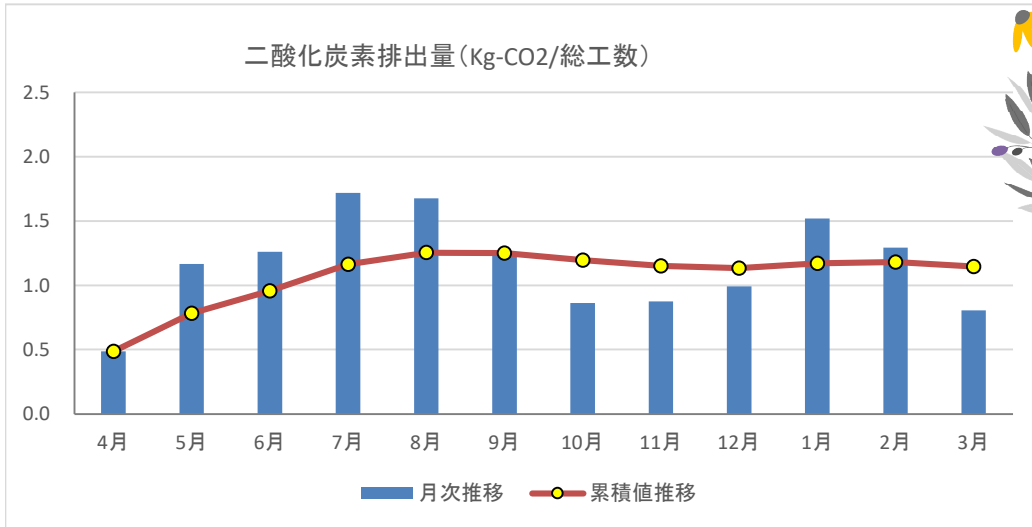
環境方針	目的	環境目標	
		71期 (2021/4-2022/3)	
		取組み活動	
地球環境にやさしい事業活動をする	温暖化対策CO2削減 (交通事故防止)	交通安全活動 ・空ぶかし、急発進防止、法定速度以下の運転 ・車両運転チェック(車両運転チェック表) ・車両の省エネ運転 *通勤でも同じ(バイク、自転車など含む)	
	廃棄物の削減	廃棄物削減活動 ゼロエミ化推進(教育実施)	産廃 一般
	節電	・省電力設備の調査、投資対効果検討(計画段階の都度) (加工機、パソコン、サーバーなど)	
	地域貢献	地域社会への貢献 盛越川の清掃の清掃(計画に基づき実施)	
環境関連法規制を遵守する	法令遵守	環境関連法規制情報を入手し、法令規制等要求事項管理表を都度確実に更新する。	
環境マネジメントシステムの継続的改善に努める	継続的改善	外部審査 指摘、アドバイス対応	
		内部監査(2回) 指摘、アドバイス対応	
		マネジメントレビュー指示事項対応	
環境汚染の未然防止と環境負荷の低減に努める	輸送による油漏洩防止	輸送中の油漏洩防止対策ルール明確化 交通事故災害時の緊急対応訓練	
	環境災害未然防止	構内環境影響災害防止活動 ・安全衛生環境/パトロール点検(毎月) →各部門 朝礼等で従業員に展開する	
	環境負荷の低減	安全データシート(SDS)の入手。掲示、取り扱い指導 有害性の低い潤滑油・切削油の調査 切り換え推進(SDS)	
	環境汚染緊急対応	緊急事態対応手順書(油の漏洩時の対応)訓練の実施とレビュー必要により見直し	
	環境汚染軽減	オイルトラップの維持管理	
	環境災害未然防止	危険物倉庫の管理	

監視項目	
二酸化炭素排出量	総排出量(t-CO2/年)
	原単位使用量(kg-CO2/総工数)
電力量	総使用量(kWh/年)
	原単位使用量(kWh/総工数)
騒音、振動、悪臭	法令による



- ☑ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、事業活動の制限が大きくなり、受注は低減したまま。併せて仕入れ品の入荷が大幅に遅れ、出荷できないなど、受発注双方に影響があった一年。世界的サプライチェーンの崩壊は序曲に過ぎず、今後大きな転換点を迎えることになる想定される。
- ☑ そういった情勢の中、中小企業たる当社が「生き残るために」は、足元の見直しと今までにない受注判断をもって、将来へ繋ぐ種まきと積上げを徹底して行うことである。
法令改正も頻繁に行われる昨今で、適宜対応策しつつ働き方改革の進捗と合わせて付加価値の高い受注を確保し、バランスの取れた事業活動へ変革させていくことが当面の課題であり、環境品質共に安全第一で1歩1歩踏みしめて次代に引継ぐ人材確保も課題である。

前年比 削減目標 5%減



[二酸化炭素排出量の推移]

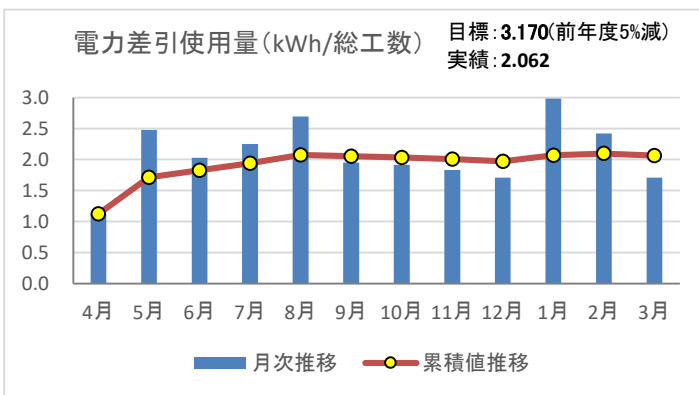
稼働時間の繁閑差は引き続き激しく、且つ小ロット対応を旨としているため、短納期対応は多いが残業規制もあり達成。

目標 2.240 kg-CO₂/H
実績 1.145 kg-CO₂/H



1) 電力の使用量 (発電相殺含まず)

令和元年度 484,294 kWh
令和2年度 434,975 kWh
令和3年度 512,293 kWh



*発電量(4月~3月)

50,426kwh

2) 都市ガスの使用量

既にガス空調を導入しており、軌道分散化や清掃日常できることの継続でGHP更新は投資圧縮先送り
令和3年 42,097 m³

対比上は大幅増だが、通常レベル。

平成29年 47,457 m³
平成30年 46,542 m³
令和元年 37,531 m³
令和2年 35,738 m³

3) コピー用紙使用量

令和元年度 0.871 kg/売上百万円
令和2年度 1.062 kg/売上百万円
令和3年度 0.970 kg/売上百万円

- * コロナ対策継続で集合行事中止継続
- * 設備更新は芳しくないが、残業規制含め稼働状況が変化しておりしばし注視

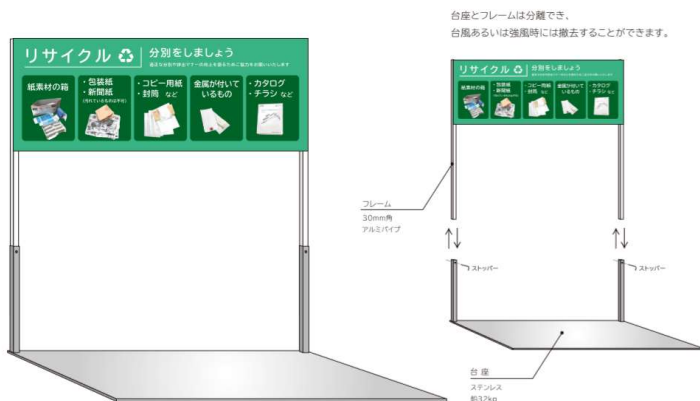
設計案件は引き続き需要があるもののまだまだ、確定に時間を要す。

廃棄物のゼロエミ化推進

排出そのものを減じるために在庫・調達管理の徹底・不良削減等に取り組んでいる。

より一層の廃棄削減とゼロエミ推進と法令改正とを鑑み、本年度取組んだ砥石くずのリサイクル先調査が完了。契約を結ぶことができた。今後は廃プラ類の削減と意識高揚に繋がる取組みを出来る範囲で推進する。

ゼロエミ率 99.60% (産廃) 57.0%(一般) 総ゼロエミ率 96.8%



☑ 5S活動の標準化

5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)について、定期的に運用/改善できるよう標準書を制定し、運用を開始した。

特に不要物削減と置き場所・置き方には注力の年

地域活動

隣接する盛越川の清掃を、5/28、6/22、10/13に実施。



環境関連法規制を遵守する/環境マネジメントシステムの継続的改善に努める

- ☑ 「法規制等要求事項管理表」を作成し、適用される法規制やその変化点管理を継続
特に環境以外にも多くの法令改正が伴い、監視作業と今後に引き継いでいく資料とするために
定期的に評価している。(定例4月評価/法令加筆修正は随時)

- ☑ PRTR法対象の集計及び届出
質量1t未満で届出対象外

- ☑ 産業廃棄物管理票交付状況報告書
前年比 t当りは約半分に低減したものの、内訳が大きく変化した。
加工油等が減少し、梱包材となる廃プラ類と木くず類が上昇した。
単発での頻度ある仕入れ状況や梱包の仕様変更が素材が変更も増加傾向
報告書は 2022年4月提出

- ☑ 事業系廃棄物の減量・資源化及び適正処理に関する計画書
大きな変化はないが、受注との関連でまずは低減気味。
報告書は 2022年4月提出

提案活動

各個人ごとに毎月提出するもので、それぞれができる改善をとおして効率UPやモチベーションUPなどにも通じ
継続的に続けている。

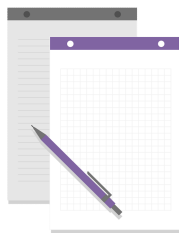
計画

125.0 件/月

実績

176.5 件/月

内月平均5件が環境に直接よい影響を及ぼす
改善提案



環境負荷の未然防止と環境負荷の低減に努める

緊急事態訓練 等

一級河川「盛越川」へ隣接しているため、水質の定期監視を自主的に継続している。
年に1度測定を実施し、大津市基準24項目基準で異常なし。これら以外の異常はなし。

又、一級河川に隣接し、琵琶湖へ直結していることから特に新入者（新入社員や中途採用者等）を重点に油の保管場所や零したときの想定をして訓練をしています。

コロナ禍で防災訓練を見直し、教導型も導入し見て判る訓練につながった。



教養型火災訓練

訓練種別	シナリオ名(内容)	時間
消火訓練	【新入社員研修】火災発生時の初期対応(消火器の使用)と上り下り避難 【新入社員研修】火災発生時の初期対応(消火器の使用)と上り下り避難	約 8 分
通報訓練	【新入社員研修】火災発生時の初期対応(消火器の使用)と上り下り避難 【新入社員研修】火災発生時の初期対応(消火器の使用)と上り下り避難	約 7 分
避難訓練	【新入社員研修】火災発生時の初期対応(消火器の使用)と上り下り避難 【新入社員研修】火災発生時の初期対応(消火器の使用)と上り下り避難	約 5 分
屋内消火訓練	【新入社員研修】火災発生時の初期対応(消火器の使用)と上り下り避難 【新入社員研修】火災発生時の初期対応(消火器の使用)と上り下り避難	約 4 分
応急手当訓練	【新入社員研修】火災発生時の初期対応(消火器の使用)と上り下り避難 【新入社員研修】火災発生時の初期対応(消火器の使用)と上り下り避難	約 10 分



油漏洩時訓練

6) 環境負荷低減

化学物質管理においても、塗装工程廃止後に大幅な削減であるものの、一層の見直しを取組中。
図面仕様上、硬質クロムメッキ（六価無しだが工程上使用される）→無電解ニッケルメッキへ切替



-- 次年度の主な取組み --

* ISO認証状況 *

サーベイランス審査を受け、継続認証。

- * 2021年10月 晴嵐小学校 生徒・先生 コロナ感染症拡大により
人数限定で実施

* 令和4年6月

2015年度版 サーベイランス

- * 内部監査員の更なる養成
→若年層の2015版切替推進
- * 化学物質等 管理物件の見直し推進
- * 設備更新継続(省エネにも)
- * 業務フロー見直しによるムダ削減

